

基本情報



【年 齢】
24歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
東京都八王子市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R4.4~R.7.3 (予定)

協力隊に応募したきっかけ

大学4年生の時、インターンをきっかけに鬼北町の道の駅を訪れ、鬼北町を知りました。以前から農業に興味があり、特に養鶏等の生き物に関わる仕事をしたいと考えていました。鬼北町は全国でも珍しい「きじ」の特産地です。鬼北町を訪れるまで、きじの養殖が盛んであることを知りませんでした。「きじ」という、珍しい品目を育てること、きじという食材を全国に広めることにやりがいを感じ、きじ生産に関わってみたいと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

きじの養殖で独立する事を考えています。現在は一人暮らしですが、いずれは東京の家族を鬼北町に呼び、家族の面倒を見ながら働ける方法を確認したいと考えています。私の家庭は4人家族で、父親と、私を含める三つ子の兄弟がいます。私以外の兄弟は重度の知的障害を抱えており、誰かが面倒を見る必要があります。そこで、生活介護事業者のような形で起業し、主な事業をきじの養殖や農業とし、日本の未来と自分の幸せを両立させるような仕組みづくりをしたいと考えています。

活動内容

●きじの飼育

きじの飼育の主な内容は、きじの孵卵、育雛、餌やり、きじ舎内の清掃、消毒、出荷などです。きじはニワトリ等と異なり、春にしか産卵しない生き物です。4~6月は孵卵、育雛。7~10月は成鳥の飼育。11~1月は出荷。1月からは親鳥の育成と、季節によって様々な業務があります。



●野菜の栽培、県内農家の視察

近所の畑をお借りして、様々な野菜の栽培を行っています。畑にはきじ舎で取れる糞を主に利用し、それ以外の肥料や農薬をなるべく使わない、循環型農業を目指しています。また、採れた野菜は公民館行事などに活用し、地域行事のサポートも担っています。



●町内農家のサポート

町内農家の業務、きじ生産者の出荷作業等、米農家の柵張りや、くり農家の栗収穫の作業等を行っています。ただ作業を行うだけでなく、栽培技術を学ぶ機会にも繋がっています。地域行事にも積極的に参加し、地域の活性化にも意欲的に取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人or職場)) omura_satoshi_1012@icloud.com (個人)
(電話番号(個人or職場)) 090-6307-6278 (個人)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(facebook) <https://www.facebook.com/profile.php?id=100080260146088>
(instagram) https://www.instagram.com/omura_satoshi/